

## 様式第3

## 会議録

会議名	野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 専門部会（医療的ケア児者支援部会・子ども部会・相談支援部会）																																																			
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<p>議題</p> <p>1. 医療的ケア児等支援センター地域巡回支援「ぽらりすキャラバン隊」による研修会（公開）</p> <p>2. その他について（公開）</p>																																																			
日時	令和7年12月8日（月） 午後1時から午後2時50分まで																																																			
場所	市役所8階 大会議室																																																			
出席委員氏名	<table> <tbody> <tr><td>石山 紀子</td><td>上野 友和</td><td>白石 直美</td><td></td></tr> <tr><td>並木 徹</td><td>小林 幸代</td><td>新村 秀樹</td><td></td></tr> <tr><td>石井 千賀子</td><td>脇屋 春英</td><td>小山田 瑞木</td><td></td></tr> <tr><td>岩澤 文</td><td>小林 公平</td><td>渡辺 梨絵</td><td></td></tr> <tr><td>田中 愛子</td><td>初見 亜希子</td><td>染谷 和則</td><td></td></tr> <tr><td>里見 敦子</td><td>五十嵐 孝子</td><td>小野瀬 幸子</td><td></td></tr> <tr><td>龜井 宏純</td><td>久保 貴寛</td><td>古藤 栄一</td><td></td></tr> <tr><td>笹木 美来</td><td>澤村 浩史</td><td>高橋 雅子</td><td></td></tr> <tr><td>戸邊 里水</td><td>中村 成彦</td><td>仁木 純子</td><td></td></tr> <tr><td>野村 祐一</td><td>橋本 竜也</td><td>若林 佳誉子</td><td></td></tr> <tr><td>萩原 明子</td><td>石川 友</td><td>内田 朋宏</td><td></td></tr> <tr><td>堀上 翔大</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				石山 紀子	上野 友和	白石 直美		並木 徹	小林 幸代	新村 秀樹		石井 千賀子	脇屋 春英	小山田 瑞木		岩澤 文	小林 公平	渡辺 梨絵		田中 愛子	初見 亜希子	染谷 和則		里見 敦子	五十嵐 孝子	小野瀬 幸子		龜井 宏純	久保 貴寛	古藤 栄一		笹木 美来	澤村 浩史	高橋 雅子		戸邊 里水	中村 成彦	仁木 純子		野村 祐一	橋本 竜也	若林 佳誉子		萩原 明子	石川 友	内田 朋宏		堀上 翔大			
石山 紀子	上野 友和	白石 直美																																																		
並木 徹	小林 幸代	新村 秀樹																																																		
石井 千賀子	脇屋 春英	小山田 瑞木																																																		
岩澤 文	小林 公平	渡辺 梨絵																																																		
田中 愛子	初見 亜希子	染谷 和則																																																		
里見 敦子	五十嵐 孝子	小野瀬 幸子																																																		
龜井 宏純	久保 貴寛	古藤 栄一																																																		
笹木 美来	澤村 浩史	高橋 雅子																																																		
戸邊 里水	中村 成彦	仁木 純子																																																		
野村 祐一	橋本 竜也	若林 佳誉子																																																		
萩原 明子	石川 友	内田 朋宏																																																		
堀上 翔大																																																				
欠席委員氏名	<table> <tbody> <tr><td>杉山 浩志</td><td>石垣 幸子</td><td>渋谷 かずえ</td><td></td></tr> <tr><td>嘉門 美希</td><td>金 隆史</td><td>渡辺 祐太郎</td><td></td></tr> <tr><td>内藤 鉄也</td><td>古瀬 奈津代</td><td>小野 俊郎</td><td></td></tr> <tr><td>鈴木 千尋</td><td>橋本 諭</td><td>小林 謙介</td><td></td></tr> </tbody> </table>				杉山 浩志	石垣 幸子	渋谷 かずえ		嘉門 美希	金 隆史	渡辺 祐太郎		内藤 鉄也	古瀬 奈津代	小野 俊郎		鈴木 千尋	橋本 諭	小林 謙介																																	
杉山 浩志	石垣 幸子	渋谷 かずえ																																																		
嘉門 美希	金 隆史	渡辺 祐太郎																																																		
内藤 鉄也	古瀬 奈津代	小野 俊郎																																																		
鈴木 千尋	橋本 諭	小林 謙介																																																		
事務局	<p>大月 加奈子（障がい者支援課長）</p> <p>飯塚 純子（障がい者支援課相談支援係長）</p> <p>宇佐見 千絵（障がい者支援課相談支援係主査）</p> <p>高倉 千雪（障がい者支援課相談支援係主任主事）</p> <p>岩田 優飛（障がい者支援課相談支援係主事補）</p>																																																			
傍聴者	10人																																																			
議事	野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 専門部会（医療的ケア児者支援部会・子ども部会・相談支援部会）の会議結果（概要）は、次のとおりである。																																																			

事務局	<p>令和7年12月8日午後1時開会。事務局から欠席委員が12名いることを報告した。また傍聴者が10人いることを報告し、入室を許可する。会議録作成のためICレコーダーを使用し、録音することの了承を得る。</p> <p>以降、医療的ケア児者支援部会の新村部会長が進行する。</p>
新村部会長 (医療的ケア児者支援部会)	<p>【議題1 医療的ケア児等支援センター地域巡回支援「ぱらりすキャラバン隊」による研修会】</p> <p>千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりすの医療的ケア児等コーディネーターである講師を紹介する。</p> <p>&lt;千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりすによる講義&gt;</p>
並木副部会長 (医療的ケア児者支援部会)	<p>質疑応答に入りたい。まずは私の方から、実態調査についてお伺いしたい。3年ほど前に訪問看護ステーション、相談支援事業所等へ、利用者の中に医療的ケア児者がいるかどうか調査を行ったが、重複回答や、介護保険利用者が含まれるなど、正確な把握ができなかった。実施方法について助言を頂きたい。</p>
千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす	<p>千葉市のホームページに、調査方法や質問票、結果が掲載されているため、参考になると思う。</p> <p>まずは基準としてどのような方が調査対象である医療的ケア児者・重症心身障がい児者とするのか決める必要がある。</p> <p>平成30年度の実態調査の基準で進めてよいと思うが、18歳以降で発症した方や介護保険利用者は含めないとしてもよいのでは。また、ケアが必要な方という観点から、自己導尿や自己注射をしている18歳以上の方たちも除外してよいとは思う。</p>
並木部会長	<p>続いて、災害対策について伺いたい。これは自治会や危機管理課など様々な関係者を巻き込まなければできないと思うが、他市ではどこが主導で取り組んでいるのか。</p>
千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす	<p>危機管理課は既に動いていると思う。危機管理課は医療的ケア児者、重度心身障がい児者、それ以外の高齢者等も含めて全体を把握し、避難行動要支援者名簿を作成するが、医療的ケア児者等の体制整備は、障がい者支援課と連携を取る必</p>

	<p>要があると思う。</p> <p>個別避難計画の書式は、ケアについて書き込むスペースがほとんどないため、医療的ケア児者等の方は、例えばこちらの部会が作っている書式を使うということを、他の市町村ではやり始めている。</p>
並木部会長	<p>続いて、老人保健施設の医療型短期入所について伺いたい。今回御紹介いただいた事例では、老健側から申出があつたのか、こちらから交渉してお願いした形だったのか。</p>
千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす	<p>地域によるが、習志野市に関しては老健が1か所しかなく、医療的ケア児者等を受け入れ可能な医療機関もない状況ということもあり、老健に協議の場に来てもらい、地域貢献ということでお願いしたところ、事業申請をしてくれたという経緯がある。</p>
並木副部会長	<p>野田は資源がなく、医療に頼っているところがあり、緊急を要する相談が入ったときは、野田市内の総合病院にお願いをすることが多い。</p> <p>他市も医療機関に頼っていることが多いのか。</p>
千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす	<p>そうとも言えない。安房地域の方でも、千葉市の大型入所施設を利用している。</p>
並木部会長	<p>他に質問等あれば挙手をお願いする。</p>
野村委員 (相談支援部会)	<p>お話を伺い、やはり社会資源が不足しているという状況を感じた。いろいろな課題がそれぞれの地域であるが、資源を増やしていくために、最初にどこをクリアするべきだと感じるか。</p>
千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす	<p>資源というのはどうにもならないが、鴨川の事例で言うと、このような協議の場に関係事業所等を呼び、その事業者に運営の課題等を共有し合ってもらった。例えば看護師が不足しているという課題が挙がったところ、実はある訪問看護事業所で看護師が余っていることがわかり、不足している事業所にマッチングできないかという話が今進んでいる。</p> <p>このように、地域支援の中の人たちと顔を合わせて現状や課題を話し合うことが、一番のきっかけになると思う。そこから少しずつやれることもあるのではないか。</p>

久保委員 (相談支援部会)	野田は資源が少ないため、私の場合埼玉県の資源を紹介していることが多いが、県外の情報をぱらりすでは把握しているか。
千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす	県外の情報は把握していないが、関東圏域のケアセンターと連携はしており、困難事例について共有などしている。情報を探すのであれば、私も一緒にできるのではないかとは思う。
久保委員	グループホームに入居されていた方が入院し、今後医療的ケアが必要となった。このような場合、退院後の受入先と一緒に探すという相談もできるのか。
千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす	一緒に探すことは可能だが、援護地が他県の方であればその県とも連携する必要がある。また、千葉県だと入所施設の数に限りがあり、入所待ちの方が今150人ぐらい並んでいる。今病院に入院していると、緊急性がないためすぐに入所することは厳しいと思われる。
久保委員	最後に要望だが、今年度は医療的ケア児等コーディネーター養成研修が開催されていないと思う。私もこの研修を是非受けたいと思っている。
千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす	医療的ケア児等コーディネーター養成研修は、県から委託を受けて実施している。昨年の受講者が多く、地域にコーディネーターが充足したということもあり、今年は実施がなかった。来年は11月頃に実施予定で、5月頃には案内ができると思う。
並木副部会長	子ども部会の小林部会長から一言お願いしたい。
小林部会長 (子ども部会)	今回の研修を受けて、子ども部会でも課題の検討をしたいと思う。今後全体的にどこからスタートすればいいのか、スタートするきっかけ、そういうところをアドバイスいただきたい。
千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす	実態調査をやれば家族が何に困っているかということが明確になる。皆さんのが課題と感じていることと、家族が実際に困っていることがずれている可能性もある。レスパイトが一番であれば、そこを重点的にやっていく。災害が心配となってくれば、災害対策を重点的にやっていく。このように地域として前に進んでいけるものなのだと思う。

並木副部会長	今の災害対策について、事務局へ説明を求める。
事務局	<p>市では、自治会、企業、学校、行政が一体となって支援をするという方針を打ち出している。避難行動要支援者の要件については、施設入所していない、自力で避難が困難な方等となっており、障害者手帳や認定調査票などを参考にしながら、生活実態調査を進めていくことになっている。</p> <p>要支援者の要件に該当する方であって、浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域に居住する方で、情報共有などに同意いただいた方については、市が主体的に個別避難計画を作成する方針である。計画では、令和8年度末までに策定をするということで進めているため、今後協力をよろしくお願ひしたい。</p>
並木副部会長	以上で研修会は終了とする。
新村部会長	<p><b>【議題2 その他について】</b></p> <p>議題について、事務局から説明を求める。</p>
事務局	資料に沿って説明を行う。
新村部会長	<p>そのほかに意見や質問がないため、以上で本専門部会を終了する。</p> <p>午後2時50分閉会</p>
	以上